

1 教育目標と学校経営理念

《教育目標》

- 自分から進んで学ぼう
- ◎ 友だちをたいせつにしよう
- 力を合わせてやりぬこう
- 健康なからだをつくろう

「教育」とは「教え」「育てる」ことであると言われている。「教え込み」だけでは心は育たないし、「育てる」ことを盾にとつた放任だけでは無秩序な状態に陥ってしまう。小学校6年間、各学年の1年間、さらには学期ごと、教科ごと、一時間の授業ごとに、指導する側が「何を学ばせ」「どのように学ばせ」「何をできるようにさせるか」を明確にもった上で授業に臨み、「教え

育てる」ための授業力の向上を常に目指していく必要がある。

「教育は人なり」。小学校においては特に、教え、育てる主体者の教師の影響を良くも悪くも強く受けて児童は育つ。教師自身は、多大な影響力をもつからこそ、一人一人がそれを自覚し、日常の教育活動に取り組みながら自己研鑽に励み、昨日よりも今日、今日よりも明日へと日々向上していかなければならないのである。

以上のことを勘案し、本校の教育目標の中でも「友だちをたいせつにしよう」に重点を置き、区の教育施策「キャリア・未来デザイン教育」を推進し、児童に「知・徳・体」をバランスよく身に付けた「生きる力」を育てていくために、以下の理念のもと、教育活動を進めていく。

育成【人を育て、自分も成長する】

を経営の基本理念とし、学校、家庭、地域の教育力が十分に発揮されるように連携を深めていく。

学校経営のメインテーマは、児童育成、組織育成、自己育成の3本からなる「育成」である。

「児童育成」について

日常の教育活動全般にわたって『主体的・対話的で深い学び』を活性化させる活動を工夫するとともに、学習規律の徹底を図り、基礎学力の定着を進める。また、道徳教育の充実を推し進め、異学年間の協力、共同的な活動を多く取り入れることにより、人間関係調整力や伝え合う力・表現力を育み、協力し合う心を育てていく。さらには、体力の向上を目指し、日常の体育的活動に取り組んでいく。

「組織育成」について

OJTとして若手と先輩教師で学年や校務分掌等を担当し、互いにコミュニケーションをとり合いながら、教え合い、伝え合い、学び合う職務遂行の場を意図的に設定することにより、若手育成を図る。また、若手層、中堅層、ベテラン層が互いの授業を見せ合い、自身の授業力向上はもちろんのこと、組織全体で授業力を向上していこうとする気風を醸成させる。

「自己育成」について

教育公務員としての使命と責任を自覚させるために、職員会議初めの校長講話や研修会等で服務について指導するとともに、職員朝会で服務事故報告等を取り入れた話をし、常に教師自身が自己を振り返りながら自分を向上させていこうとする自己育成の姿勢を促す指導を工夫していく。また、職務改善を図り、時間外勤務時間の削減に努め、教員個々のプライベートを充実させようとする自己意識の向上を目指す。

以上の基本理念のもと、次に示す「めざす学校像」の具現化を図っていく。

【めざす学校像】

- 児童にとって、 **学んでよかったと思える学校**
- 教職員にとって、 **働いてよかったと思える学校**
- 保護者・地域にとって、 **支えてよかったと思える学校**

【めざす児童像】

- **友だちと関わりながら、学ぶことが楽しいと思える児童**

【めざす教師像】

- **組織全体で指導力の向上を目指す教職員**

【めざす保護者・地域像】

- **児童の学びに力を活かそうとする保護者・地域人材**

2 基本方針

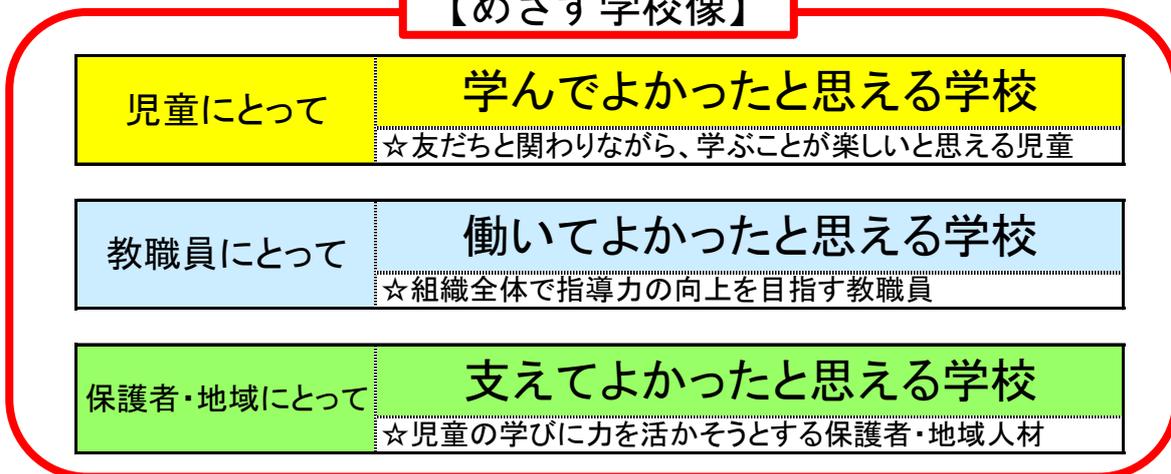
- (1) 探究的な学びを通して確かな学力を培う 【児童育成】
- (2) 思いやりのある子を育てる 【児童育成】
- (3) 体力の向上と健康の保持増進を図る 【児童育成】
- (4) 計画的・組織的な学校運営を進める 【組織育成】
- (5) 自己研鑽・ライフの充実を図る 【自己育成】
- (6) 家庭・地域との連携を深める 【地域連携】

令和5年度 学校経営方針（ビジュアル版）

世田谷区立深沢小学校
校長 須藤 央

教育目標	・自分から進んで学ぼう ・力を合わせてやりぬこう	◎友だちを大切にしよう ・健康なからだをつくろう
------	-----------------------------	-----------------------------

【めざす学校像】



具現化のために…

